

藩境の 緑ゆたかな 要害マップ



① 旧坂本家侍住宅

坂本家は、文政年間(1818~1829)に伊達氏の預足軽から大町氏の家臣となりました。天保元年(1830)に当屋敷を拝領し、主屋を建てています。敷地は560坪あり、主屋の他に生垣、庭が残っています。主屋は桁行8間、梁間4.75間の喰い違い4間取りです。平成21年に復原しました。

公開/金・土・日曜日 10時~16時
休 /年末と1~3月 Tel. 0197-42-3088

② 金ヶ崎神社(旧諏訪社)

前九年合戦の際、源頼義が諏訪の大神に戦勝祈願をし、勝利したため勧請したと伝えられます。本殿は、桁行3間、梁間2間の3間社流造り、寛保元年(1741)に造られました。境内から東方(北上川、北上山地)の眺望は絶景です。天明5年(1785)菅江真澄が当地で「陸奥胆沢郡須輪神社法楽八景和歌」を詠み、神社に奉納しています。

③ 金ヶ崎城(金ヶ崎要害) (町指定史跡)

金ヶ崎城は古代からの伝承があり、中世にも北上川中流域で軍事上注目されていた場所とされます。城は北上川、宿内川沿いに自然の谷を利用して二の丸、蔵館、本丸、東館、観音館、大庭の六つの郭がありました。江戸時代、城に代わって金ヶ崎要害が置かれました。北上川の浸食が激しく蔵館は消失、大庭を除いた他の郭も一部欠損し、当主であった大町氏は二の丸で治世にあたったといわれます。二の丸は北と西を金堀沢・土塁、南を堀とさらに大庭で区切られています。金堀沢による堀跡の景観は藩境の要害を今に伝えています。

④ 白系まちなみ交流館

開館/10時~16時 休/水・木曜日、年末と1~3月
Tel. 0197-41-2355

⑤ 伊東家侍住宅

伊東家は六軒丁北西側、表小路との境に位置します。敷地は約750坪あり、生垣、庭、主屋が残っています。主屋は桁行7.5間、梁間4.5間の整型田の字型4間取りです。平成19年一部創建時に復原しました。

公開/11時半~15時
休 /火曜日
Tel. 0197-34-3008 (敷地内に駐車場あり)

⑦ 大松沢家

大松沢家は山林奉行を務めたことがあり、位置は表小路と達小路境の枳形道路沿いです。敷地は760坪あり、四脚門(江戸時代後期の様式)、板塀石積み、エグネ、庭園が残っています。築山を中心とした大庭園でエノキ、カエデ等の巨木があります。

公開/10時~16時
休 /月曜日
Tel. 080-5552-2071 (隣に駐車場あり)

⑨ 片平丁・旧大沼家侍住宅 (町指定文化財)

大沼家は金ヶ崎要害(城)の大庭に沿った屋敷で、主屋、馬屋、庭が残ります。主屋は桁行7.5間、梁間3.5間の広間型3間取りで、18世紀末頃の創建と考えられます。馬屋は明治期に建てられたものですが、当保存地区に唯一残っているものです。平成17年、創建時に復原しました。平成18年に厩を新築し当地方特有の建物配置である三ツ家形式を見ることができます。

公開/10時~16時
休 /水・木曜日、年末と1~3月
Tel. 0197-42-5010

⑥ 土合丁・旧大沼家侍住宅 (町指定文化財)

大沼家は町氏の家で、正保元年(1644)大町氏が藤沢から移封となったときにお供してきました。「大沼家先祖書留」には文化14年(1817)に古家を拝領したとの記述があります。主屋は桁行7.5間、梁間4.5間の喰い違い4間取りです。平成23年創建時に復原しました。

公開/10時~16時
休 /水・木曜日、年末と1~3月
Tel. 0197-42-2343

⑧ 金ヶ崎要害歴史館

当地の歴史文化、侍屋敷の特徴や町並みなど、映像や展示を通して詳しく知ることができます。

開館/9時~17時
休館/月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始
観覧料/大人200円、高校生以下無料
Tel. 0197-42-3060 Fax. 0197-42-3061

- 凡 例**
- 伝達地区指定区域
 - 案内標柱
 - トイレ
 - 駐車場
 - バス停
 - 食事処
 - 案内所